

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0770401495		
法人名	有限会社そら		
事業所名	大地の家		
所在地	福島県いわき市四倉町字西三丁目12番地の15		
自己評価作成日	平成22年9月17日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.fukushimakenshakyō.or.jp/2000/2701.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉ネットワーク		
所在地	いわき市錦町大島2番地		
訪問調査日	平成22年9月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

散歩等を通じて外へ出かける事が、体力増強、四季の自然や社会交流を楽しみ、おだやかで元気に暮らして頂きたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

室内は古民家風で明るく風の流れを感じ、利用者の表情が皆さん明るく自然体である。年々高齢となる為、毎日の散歩や旅行を取り入れながら体力増進に努め、楽しい時間を過ごす事が出来るように努力している

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしく暮らすため、事業所理念を設けている。 理念を掲示し説明が必要な時には、理念の共有、その実践に取り組んでいる。	必要に応じて、事業所理念を唱和し職員全員で確認している	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として近所づきあいや地元の活動、地域住民との交流に積極的に取り組んでいる。	散歩、清掃活動、地域行事、小学校の運動会やバザーなどに参加し地域の人々と交流を持っている。	町内会へは、一般家庭と同じ参加をしている(回覧板等)毎日散歩をしており、地域との交流等を図っている。幼小中高の各行事には招待され参加している	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている。	家族の会の延長会議に留まらず、(各専門メンバーから率直な意見を受け、課題から外れない支援向上に努めていく。)今後も引き続き地域包括支援センターとの密な情報交換を図っていく。	2ヶ月に1回の会議には担当者は必ず出席して頂き、地域包括支援センターとも、密に連絡を取り合っている	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	情報交換をしながら支援を行っている。	常にアンケートとを家族から提出して頂き、意見を聞いたり情報交換をしている。 月1回相談員が来て下さり、利用者との交流をもち情報を教えてくれる	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解することに努め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束「0」を実践している	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定例会で理解の浸透や虐待が見過ごされることが無いよう注意を払い防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定例会で理解の浸透を図っている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧に説明している。特に利用料について詳しく説明し、同意をえるようにしている。事業所のケアに対しての考え方や取り組みも説明している。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何でも言って貰える環境作りをし、出せれた意見、要望は職員で話し合いながら決めている。	利用者、家族等からの声を聞いてそれらを文書化し、掲示している。それらを運営に反映されている。 時々家族対し、認知症の勉強会を開いている	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や管理についての職員の声に耳を傾け、活かしていくことを心がけ、職員の働く意欲の向上や質の確保を図っている。	定例会を月1回行って意見を聞くようにしている。それ以外にも随時、耳を傾け活かしていくことを心掛けている。	月1回勉強会を開いており、教務関係やその他すべての相談事に耳を傾けて職員が気持ちよく笑顔で仕事出来るように努めている	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努める。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	意欲のある方には定例会や働きながらトレーニングしていくことを進めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡協議会での交流・研修の取り組みをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを導入する段階では、通常以上にコミュニケーションを軸に、安心の確保、より良い関係作りに努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学时、契約時、初期段階などでは、特に困っていること不安なこと要望等に耳を傾けながら良い関係作りに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様が見学に来て頂ける場合は、ホームの雰囲気を見て頂き時間をとって説明させて頂きます。本人様が見学に来られない場合は会いにいきます。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	得意なこと好んでいることなど役割を持って頂き、共に支え合える関係作りに努めている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一泊旅行や餅つき大会、会議参加などの参加などの参加協力をお願いすることで共に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との円滑な交流を復活させたり、知人との面会の機会を支援したり、継続的な交流が出来るように働きかけている。年賀状や季節の便り、電話を使い関係が途切れないよう努めている。	婦人会、敬老会には、各自それぞれの地区に出向いていき楽しんで貰っている。少なくとも月1回は利用料支払いの為、面会に来て頂くようにし、関係継続に努めている。食事会、旅行等で温泉やご馳走を食べながら家族共々楽しんで頂いている	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく過ごせるよう考えながら、孤立せず関わり合いが持てる支え合うような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	見舞いへ行ったり、近くに来たからと寄って頂いたりしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、関係者で本人の視点に立って意見を出し合い、話し合っていく取組を心がけている。	言葉や表現などから希望や意向を把握し考えるよう努める。	会話の中で、家族の知らない生活暦を把握出来る事もあり、それらを反映させている	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約前の自宅訪問や見学時、特に利用初期段階など本人様やご家族から聞き取りをしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりが役割を持てるよう注目し、得意なこと好きなことの把握に努める。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時支払い時など課5区から要望などを聞き、スタッフ全員でモニタリングをしている。	3ヶ月に一回モニタリングをして、問題点の減少が目標の達成に繋がっている。目標達成により問題点の減少が確認につながっている	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事水分量、排泄など身体的状況、エピソードや気づき、本人様の言葉を記録し誰でも確認できるようにしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常生活の中、様々な状況に対応出来るだけ柔軟に対応している。月間予定や1日の流れはあるものの、本人様やご家族に状況に合わせて変更している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物や地域の清掃・散歩などを通じて楽しく暮らしをしている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様又はご家族が希望した病院へ定期的に受診をしている。適切な医療を受けられるよう支援している。	入所前からのかかりつけ医に通院、希望に併せて協力病院へ依頼している。受信時は看護師や職員が必ず付き添い家族に結果報告をし職員間で共有している。かかりつけ医とは密に連絡を取りながら適切な治療を受けられるよう努めている	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関との連携で、協力医療機関の医師や看護師に情報や気づきうい伝え相談し、適切な受診が行えるよう支援している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院受け入れの際は情報を頂いて対応している。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用初期段階に説明をし、重度化や終末期に再度ご家族と話し合いを持っている。	協力病院に往診をしていただく事により、安らかな最期をむかえる事が出来るように支援している	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	OJTで応急手当や初期対応の訓練をし、実践力を身に付けてるよう努めている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は毎月行っている。 近隣の神社にお願いし、神社駐車場を避難場所としている。	毎月、非難訓練をしている。 時折、消防署の協力を得ている	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定例会や日常の中で随時、確認と改善をしている。	利用者と職員が馴れ合いにならない様に心がけている。生活暦を全職員が把握しており、人生の先輩と言う気持ちを常に持ちながら対応している	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スムーズな希望の表出が出来るよう、日々良好な関係を築く努力をしている。迷いが生じた場合は選択肢を複数提案し選んで頂くようにしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や散歩など一人ひとりの状態や気持ちに配慮した支援、出来るだけ希望に添った支援に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時の化粧や洋服選びなど、本人の好みや気持ちに添った支援に努めている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている。	調理や配膳、片づけなど本人様と共に行い、皆で食事の時間を楽しく過ごせるように努めている。	出来る範囲内で、お手伝いをして頂いている。利用者は自分で切った野菜、果物等を各自、自慢しながら楽しく食べている様子が見られる。時には、職員が指導される事もある	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりご家族から以前の状態を聞き、現状は医師の指示や医師との相談により支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事やおやつの後には、スタッフが付き添い本人様に合わせた対応を行っている。また協力歯科医院の協力も得ている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンの把握により、トイレへの促しや誘導を行っている。	理念にそって自主排泄の誘導を行ない、入所前と比べて排泄自立度が高くなっている様子で、職員の努力度が伺われる	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や適度な運動を一緒にすることにより、自然な排泄を目指し取り組んでいる。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の意向に沿ってゆとりを持ち入浴を楽しめるように支援している。	基本的には毎日行っているが、希望に添ってタイミングを掴みながら少なくとも週3回入浴を行っている	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、夜型にならないよう生活リズムを整える努力をしている。一人ひとりの体調や体力、希望などを配慮した休息が取れるように支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが薬の目的や副作用、用法や用量を確認し理解することで、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	喜びのある日々のために、一人ひとりが楽しみや気分転換など出来るよう支援している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩は希望に沿って行い要望に添って家族の協力を得て自宅や戸外へ出向いていける支援をし季節を感じられる部所へ出掛けている。	散歩は毎日行っており、地域との交流を含め生きがいに繋がっている。毎日の散歩が、大きな力になっている。四季を通して旅行等を楽しんで貰い思い出作りをしている	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つ大切さを理解し、一人ひとりの希望や力に応じて支援している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や季節の便り、お礼の電話などの、やり取りができるよう支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	古民家風な空間を意識し、囲炉裏や掘りごたつ、光の演出などを用い、居心地の良い空間になるよう努めている。	古民家風の室内にて落ち着いた雰囲気があり大きな窓ガラスや天窓により、室内は明るく風の流れるを感じる	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	パブリックゾーンの居間やセミパブリックゾーンの広縁的廊下、食堂など思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切に本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている。	本人様が使用してきたモノを利用して、生活が出来るようお願いしている。花や家族の写真なども飾ったり出来るようにしている。	馴染みの物、大小関係なく希望があれば、すべての物を持ってきて貰っている。常に家族や家を忘れないための努力をしている	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活を送って頂き、それでいて安全が保たれるよう努めている。		

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 大地の家

記入担当者名 管理部 鈴木 公美

評価結果に対する事業所の意見

ありません。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域の方の参加が少ない	委嘱して頂ける地域の方を増やす	地域の方に参加して頂けるイベントの実施。	12ヶ月
2	10	ご家族様との信頼関係を少しでも密に築こうと色々試しているところですが、全ご家族様とはなかなかいかない状態です。	ご家族様との信頼関係を密に築いていく	毎月利用者様それぞれの新聞を作成し、身体状況・日常の様子などをお知らせする。また、認知症に対する勉強会に多くのご家族様が参加して頂けるよう呼びかけを実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容
		(該当するものすべてに 印)
1	サービス評価の事前準備	<input checked="" type="checkbox"/> 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/> 利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/> 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input checked="" type="checkbox"/> 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/> 自己評価を職員全員が実施した
		<input checked="" type="checkbox"/> 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/> 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/> 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input checked="" type="checkbox"/> 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/> 評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/> 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/> その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/> 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input checked="" type="checkbox"/> 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/> 職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/> 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/> 「目標達成計画」を市区町村へ説明、提出した(する)
		<input type="checkbox"/> 「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
		その他()